

令和7年度

宇 部 市

No.5



市 Web ページ

コミュニティ・スクールだより

中学校区合同学校運営協議会へ小・中学生が参加

1 学期末から8月末にかけて、多くの中学校区で合同学校運営協議会が開催され、委員に加えて教職員、小・中学生、さらに大学生の参加も見られます。合同であることから、中学校区グランドデザイン、中学校区の目標、「学校・地域連携カリキュラム」の検討等、小中連携も一層進めようとされています。

昨年度に比べ、小・中学生が共に参加して熟議を行う中学校区合同学校運営協議会が増えており、オンラインで各学校をつなぐなど、様々な工夫により、児童・生徒の参加を可能にしています。

熟議のテーマも、小・中学生に共通して関係する内容が設定され、9年間の繋がりが意識されています。例えば、「子ども、地域、家庭、学校がつながるためにできる取組」「地区のために、学校内外のボランティア活動（清掃活動、あいさつ運動、行事、お祭り等）で何ができるか」「『自ら学ぶ』ために自分たちで取り組んでいくこと」「地区をよくするためにわたしたちにできること」「合同行事（クリーン大作戦）を企画しよう」等々です。

子どもたち自身が、9年間の学びと育ちを意識し、地域への愛着を育むことができる取組として、参考にいただけると幸いです。



令和7年度 第1回市コミュニティ・スクール推進協議会について（報告）

令和7年7月16日(水)、宇部市役所において、標記協議会を開催しました。本協議会では、全市的に地域ぐるみで子どもの育ちや学びを支援する質の高い教育支援体制を整備するために、コミュニティ・スクールに関する教育委員会の施策や各コミスクの取組の充実に向けた協議を行っています。中学校区での連携した取組を推進し、内容を充実させることを目的としているため、中学校区の学校運営協議会の代表者（12名）と、小・中学校の代表者（4名）で組織されています。

第1回は、委員自己紹介、会長選出、社会教育課所管説明、意見交換を行いました。

「学校運営協議会の取組の現状と課題」についての意見交換では、「熟議で子どもが考え、主体的に活動している」「体育館で地域行事のプレゼンをした」「小学校区の規模が違うため、中学校区単位での活動が難しい」「地域連携と教員の働き方改革の両立が課題」「各地区の社教推との連携が課題」等、多くの意見が出されました。

本協議会委員は、学校と地域が連携・協働する『コミュニティ・スクール運営』が、市内全域で一層充実することを願い、今後も活発な協議を続けていきます。

